

## 平成 24 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の 結果報告について

### <概要>

- 平成 24 年度に実施された DPC 導入の影響評価に関する調査「退院患者調査」について、平成 25 年 5 月 22 日の DPC 評価分科会でのとりまとめ方法に関する議論を踏まえ、ワーキンググループを組織し、集計の方向性や統計学的有意差の検証等も含めワーキンググループの助言を元に、とりまとめを行った。
- 本調査の分析・評価は、「DPC 導入の影響評価」・「外来診療の評価」・「いわゆる総合病院精神科の診療実態に関する評価」の 3 点に着目した。
  - (1) DPC 導入の影響評価
  - (2) 外来診療の実態評価
  - (3) いわゆる総合病院精神科の実態評価

### <考察>

#### (1) DPC 導入の影響評価

- ◇ モニタリング項目の集計や再入院・再転棟の状況について集計を行ったが、在院日数の短縮や他院からの紹介の増加等、従来から認めている傾向については引き続き認めたものの、平成 24 年度から新たに生じた変化は認めなかった。
- ◇ DPC 対象病院は、DPC 対象外の病院と比較した場合、「在院日数」については短い傾向、「退院時転帰（治癒・軽快）」、「入院経路（救急車による搬送率、救急医療入院、他院からの紹介）」については多い傾向（いずれも有意差あり）が認められた。

(次ページに続く)

(続き)

## (2) 外来診療の実態評価

- ◇ 術前画像診断と化学療法の外来実施状況について施設や地域の特性によって何らかの傾向があるのではないかという仮説のもと集計を行ったが、明らかな傾向を見いだすことは出来なかった。
- ◇ 外来 EF ファイルを用いることで、術前画像診断の外来実施状況の把握や、化学療法の外来実施状況のより詳細な把握が可能であり、今後も引き続き外来 EF ファイルを収集することにより、経年変化を調べることも可能となると考えられる。

## (3) いわゆる総合病院精神科の実態評価

- ◇ いわゆる総合病院において、精神病床を併設する病院と併設しない病院で当該病院の一般病床において精神疾患を有する患者受け入れ状況に違いがあるかを評価することを目的として集計を行ったところ、併設ありの医療機関の方が精神疾患を有する患者の受け入れが活発であることが分かった。
- ◇ 一般病床に入院する患者と精神病床に入院する患者で在院日数に影響を与える要因について評価する目的で集計を行ったところ、それぞれ在院日数に影響を与える要因の傾向は異なっており、同じ ICD-10 コードに該当する場合であっても、一般病床に入院する患者と精神病床に入院する患者で患者像に違いがあるものと考えられた。
- ◇ 但し、精神病床に入院する患者全体のうち、DPC データが提出されている患者数の割合は 1 割程度であり、DPC データによって精神科入院医療全体の診療実態について一定の結論を出すことについては限界があるものと考えられる。

## 1. 背景

- DPC 導入の影響評価等を行うことを目的として、診断群分類の妥当性の検証及び診療内容の変化等を評価するための基礎資料を収集するため、平成24年4月から平成25年3月までの退院患者について、「診療録情報（診療録に基づく情報）」及び「レセプト情報（診療報酬請求明細書に基づく情報）」等を収集した。
  
- 平成25年5月22日のDPC評価分科会【D-2】における「平成24年度退院患者調査のとりまとめ方法（案）」の議論を踏まえ、ワーキンググループ（以下「WG」という。）を組織し、集計の方向性や統計学的有意差の検証等も含め、WGの助言を踏まえ、とりまとめを行った。

## 2. 集計の視点

- (1) DPC 導入の影響評価
  - ① モニタリング項目（定例報告）
  - ② DPC 対象病院と DPC 対象外の病院（準備病院・出来高病院）の比較
  - ③ 再入院・再転棟調査
  
- (2) 外来診療の評価
  - ① 術前画像診断検査の外来実施状況について
  - ② レジメン別に見た化学療法の外来実施状況について
  
- (3) いわゆる総合病院精神科の診療実態に関する評価
  - ① 精神病床に入院する患者の DPC データ提出状況
  - ② 急性期病院の精神病床の有無別診療実績の評価
  - ③ MDC17 から見た一般病床・精神病床別の診療実態比較

### ※ 用語について

- 「出来高病院」…出来高で算定する病院のうち、DPC 準備病院でない病院。
- 「総合病院精神科」…DPC 対象病院（一般病床を有する病院）における精神科。

### ※ 有意差検定について

- Mann-Whitney 検定（独立した2群データを用いたノンパラメトリック検定）を使用した。
- 使用統計ソフトは、IBM SPSS Statistics version 20 を使用した。

### 3. 各集計の集計方法・結果・考察

#### (1) DPC 導入の影響評価

##### <結果概要>

##### ①モニタリング項目（定例報告）

- モニタリング項目（定例報告）においては、「在院日数」「病床利用率」「入院経路」「退院時転帰」「退院先の状況」について集計を行った。
- 「在院日数」については平成 24 年度も引き続き短縮傾向を認め、「病床利用率」については経年変化を認めなかった。
- 「入院経路」については、救急車による搬送はほとんどの施設類型で増加傾向、他院からの紹介は全施設類型において増加傾向を認めている。
- 「退院時転帰」「退院先の状況」については、若干の増減を認めるものの経年的な一定の増減傾向は認めない。

##### ②DPC 対象病院と DPC 対象外の病院（準備病院・出来高病院）の比較

- DPC 対象病院と対象外の病院の診療実態を把握するため、「在院日数」「病床利用率」「入院経路」「退院時転帰」「退院先の状況」について集計を行った。
- DPC 対象病院は、DPC 対象外の病院と比較し、「在院日数」については短い傾向、「入院経路（救急車による搬送率、救急医療入院、他院からの紹介）」、「退院時転帰（治癒・軽快）」、「退院先の状況（自院の外来）」の割合は多い傾向があり、いずれも有意差を認めた。
- 一方、「病床利用率」、「退院先の状況（転院）」については、有意差を認めない。

##### ③再入院・再転棟調査

- 再入院・再転棟調査においては、「計画的な再入院」および「予期された再入院」は平成 23 年度から 24 年度にかけて減少しているのに対し、「予期せぬ再入院」の増加が認められた他は、若干の変動を認めるものの、概ね経年で見て大きな変化は認めなかった。

##### <考察>

- ◇ モニタリング項目の集計や再入院・再転棟の状況について集計を行ったが、在院日数の短縮や他院からの紹介の増加等、従来から認めている傾向については引き続き認めたものの、平成 24 年度から新たに生じた変化は認めなかった。
- ◇ DPC 対象病院は、DPC 対象外の病院と比較した場合、「在院日数」については短い傾向、「退院時転帰（治癒・軽快）」、「入院経路（救急車による搬送率、救急医療入院、他院からの紹介）」については多い傾向（いずれも有意差あり）が認められたが、どのような背景によってこのような傾向が生じるのかについては引き続き検討が必要であるものと考えられる。

## ○ 目的と方法

- 平成 25 年 5 月 22 日の DPC 評価分科会の議論に基づき、集計の視点については①モニタリング項目（定例報告）、②DPC 対象病院と対象外の病院（DPC 準備病院、出来高算定病院）別の集計、③再入院・再転棟に係る評価とした（②については、平成 24 年度診療報酬改定の中医協附帯意見に基づき、集計を行うこととした）。
- 平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の退院患者に係るデータ（約 1040 万件）のうち、包括払いの対象とならない病棟への移動があった患者等を除外したデータ（約 930 万件）を分析の対象とした。
- 平成 22 年度 7 月以降、当調査は通年化されたが、平成 18 年度から平成 21 年度までは 7 月～12 月のみの調査であったことから、今回の集計においては、①経年比較のための 6 か月（7 月～12 月）集計と②通年化された平成 23 年度から平成 24 年度 12 か月（4 月～3 月）集計の二通りの集計を行った。

## ○ 調査対象施設数・分析対象データ

病床規模（右） 参加年度（下）	100 床未満	100 床以上 200 床未満	200 床以上 300 床未満	300 床以上 400 床未満	400 床以上 500 床未満	500 床以上
平成 15 年度 DPC 参加病院	-	-	-	-	1	81
平成 16 年度 DPC 参加病院	2	13	12	15	7	12
平成 18 年度 DPC 参加病院	4	14	34	55	42	66
平成 20 年度 DPC 参加病院	32	74	89	64	39	55
平成 21 年度 DPC 参加病院	89	159	131	91	51	43
平成 22 年度 DPC 参加病院	22	38	19	15	10	5
平成 23 年度 DPC 参加病院	12	20	13	6	4	4
平成 24 年度 DPC 参加病院	18	22	6	8	1	3
<b>DPC 対象病院合計値</b>	<b>179</b>	<b>340</b>	<b>304</b>	<b>254</b>	<b>155</b>	<b>269</b>
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	30	24	5	3	-	1
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	18	12	1	1	-	-
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	9	6	-	1	-	-
平成 22 年度新規 DPC 準備病院	11	7	-	-	-	-
平成 24 年度新規 DPC 準備病院	26	48	23	10	-	3
<b>DPC 準備病院合計値</b>	<b>94</b>	<b>97</b>	<b>29</b>	<b>15</b>	<b>0</b>	<b>4</b>
平成 24 年度出来高算定病院	20	10	3	1	-	-
<b>出来高算定病院合計値</b>	<b>20</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## ①モニタリング項目（定例報告）

モニタリングの集計項目としては、例年の通り、「平均在院日数」、「病床利用率」、「入院経路」、「退院時転帰」、「退院先の状況」とし、【表 1－1】～【表 5－2】まで施設類型別および病床規模別に経年的な推移を集計した。

【表 1－1】在院日数の平均の年次推移

### 1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	16.03	15.68	15.33	15.00	14.57	14.29
平成 16 年度 DPC 参加病院	14.44	14.31	14.14	13.85	13.53	13.27
平成 18 年度 DPC 参加病院	14.23	14.13	13.86	13.63	13.31	13.12
平成 20 年度 DPC 参加病院	14.35	14.26	14.06	13.78	13.45	13.24
平成 21 年度 DPC 参加病院	14.50	14.45	14.18	13.86	13.59	13.34
平成 22 年度 DPC 参加病院	15.97	15.17	14.86	14.53	14.26	13.99
平成 23 年度 DPC 参加病院	14.92	14.69	13.79	13.45	13.21	12.95
平成 24 年度 DPC 参加病院	16.56	15.79	15.63	14.58	14.94	14.04
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	15.27	15.18	15.01	14.39	14.44	13.86
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	15.13	14.90	14.41	14.47	13.92	13.92
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	16.35	16.08	15.65	15.31	14.79	14.59
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		16.12	15.55	14.66	15.00	14.07
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				15.02		14.42
平成 24 年度出来高算定病院				14.58		15.29

### 2) 病床規模別（DPC 対象病院のみ）

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	13.96	13.73	13.45	13.13	13.01	12.72
100 床以上 200 床未満	15.16	15.00	14.78	14.43	14.21	13.92
200 床以上 300 床未満	14.64	14.59	14.25	13.98	13.67	13.47
300 床以上 400 床未満	14.52	14.41	14.15	13.82	13.57	13.27
400 床以上 500 床未満	14.31	14.14	13.92	13.59	13.33	13.07
500 床以上	14.89	14.75	14.44	14.16	13.77	13.55

### [結果]

全ての施設類型および全ての病床規模において毎年短縮傾向が認められている。

【表 2 - 1】病床利用率

1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	80.0%	81.7%	81.6%	81.7%	81.5%	81.4%
平成 16 年度 DPC 参加病院	80.7%	82.3%	82.7%	83.6%	83.1%	83.9%
平成 18 年度 DPC 参加病院	82.0%	83.7%	83.6%	83.2%	84.1%	83.5%
平成 20 年度 DPC 参加病院	79.5%	81.8%	81.5%	81.6%	82.0%	82.0%
平成 21 年度 DPC 参加病院	76.4%	78.8%	79.2%	78.9%	79.8%	79.4%
平成 22 年度 DPC 参加病院	78.2%	79.2%	79.3%	79.9%	80.0%	80.3%
平成 23 年度 DPC 参加病院	78.4%	80.9%	77.4%	79.2%	78.3%	79.6%
平成 24 年度 DPC 参加病院	83.5%	81.5%	81.7%	80.3%	82.2%	80.5%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	76.2%	78.9%	80.0%	78.4%	80.5%	79.1%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	78.6%	81.5%	79.4%	78.7%	79.8%	78.6%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	78.7%	82.2%	80.1%	80.1%	81.1%	80.9%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		76.8%	80.2%	83.1%	81.2%	83.5%
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				77.5%		77.7%
平成 24 年度出来高算定病院				78.2%		78.6%

2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	83.1%	85.6%	83.8%	83.8%	84.6%	84.3%
100 床以上 200 床未満	77.1%	79.5%	79.3%	79.8%	80.0%	80.3%
200 床以上 300 床未満	76.2%	78.3%	78.5%	78.2%	79.2%	78.8%
300 床以上 400 床未満	78.1%	80.4%	80.5%	80.3%	81.1%	80.7%
400 床以上 500 床未満	78.9%	81.4%	81.4%	81.1%	82.0%	81.4%
500 床以上	81.0%	82.6%	82.5%	82.6%	82.7%	82.7%

[結果]

各施設類型で若干増減はあるものの全ての施設類型および全ての病床規模において経年的な変化は認められない。

【表 3 - 1】救急車による搬送の率・患者数

1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	7.4%	7.5%	7.8%	8.0%	7.9%	8.2%

(1 施設当たり患者数)	83.7	89.4	93.4	98.6	89.6	94.1
平成 16 年度 DPC 参加病院	13.0%	13.3%	13.7%	14.3%	13.7%	14.4%
(1 施設当たり患者数)	75.4	80.0	82.4	87.3	78.2	83.3
平成 18 年度 DPC 参加病院	14.2%	14.6%	15.0%	15.8%	15.2%	15.9%
(1 施設当たり患者数)	93.7	99.2	103.7	111.2	99.4	105.7
平成 20 年度 DPC 参加病院	13.5%	14.1%	14.5%	15.1%	14.6%	15.1%
(1 施設当たり患者数)	63.9	68.4	71.4	75.7	67.9	71.5
平成 21 年度 DPC 参加病院	13.5%	13.8%	14.2%	14.6%	14.4%	14.7%
(1 施設当たり患者数)	49.5	52.4	54.6	57.1	52.4	54.4
平成 22 年度 DPC 参加病院	13.9%	14.6%	15.3%	16.0%	15.5%	16.1%
(1 施設当たり患者数)	42.0	46.1	48.7	52.0	46.5	49.0
平成 23 年度 DPC 参加病院	12.3%	12.4%	12.8%	14.3%	13.1%	14.2%
(1 施設当たり患者数)	38.8	40.8	42.6	49.1	41.4	46.2
平成 24 年度 DPC 参加病院	17.0%	13.7%	14.1%	15.3%	14.2%	15.5%
(1 施設当たり患者数)	30.4	36.2	37.4	42.1	35.7	40.2
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	13.9%	13.7%	13.4%	13.4%	13.4%	13.2%
(1 施設当たり患者数)	21.3	21.8	21.3	21.9	20.2	20.3
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	10.3%	10.3%	10.6%	11.6%	10.6%	12.0%
(1 施設当たり患者数)	13.8	14.0	14.5	15.9	13.6	15.4
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	18.9%	20.0%	18.4%	19.4%	19.1%	19.6%
(1 施設当たり患者数)	26.9	28.6	26.9	28.3	26.5	27.0
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		18.2%	19.4%	18.8%	19.6%	19.1%
(1 施設当たり患者数)		18.2	20.1	20.8	19.3	20.1
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				13.9%		14.1%
(1 施設当たり患者数)				32.4		30.8
平成 24 年度出来高算定病院				11.6%		11.8%
(1 施設当たり患者数)				14.9		11.1

## 2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	15.4%	15.7%	16.4%	16.8%	16.6%	17.0%
(1 施設当たり患者数)	14.3	14.6	15.4	16.0	14.9	15.3
100 床以上 200 床未満	15.2%	16.0%	16.3%	16.9%	16.4%	16.9%
(1 施設当たり患者数)	29.9	32.5	33.2	35.0	31.5	32.9
200 床以上 300 床未満	14.6%	15.0%	15.6%	16.1%	15.6%	16.2%
(1 施設当たり患者数)	51.5	54.4	57.3	60.0	54.3	56.7
300 床以上 400 床未満	13.4%	13.9%	14.2%	14.9%	14.4%	15.0%



(1 施設当たり患者数)	69.3	74.3	77.5	83.7	74.3	79.5
400 床以上 500 床未満	12.9%	13.2%	13.8%	14.3%	14.0%	14.4%
(1 施設当たり患者数)	89.6	95.3	100.3	106.5	96.2	101.3
500 床以上	11.1%	11.3%	11.6%	12.1%	11.8%	12.3%
(1 施設当たり患者数)	116.6	122.4	127.5	135.7	122.3	129.3

【表 3 - 2】 予定・救急医療入院の率・患者数（救急医療入院の率・患者数）

1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	24.6%	14.9%	14.4%	11.2%	14.6%	11.4%
(1 施設当たり患者数)	278.5	176.6	173.3	138.4	164.1	130.9
平成 16 年度 DPC 参加病院	46.1%	30.3%	31.1%	28.4%	31.0%	28.1%
(1 施設当たり患者数)	267.3	181.7	187.5	174.1	176.9	162.5
平成 18 年度 DPC 参加病院	46.1%	31.3%	31.7%	29.1%	31.9%	29.1%
(1 施設当たり患者数)	303.7	212.5	218.8	204.8	208.3	193.5
平成 20 年度 DPC 参加病院	48.2%	32.7%	33.8%	29.6%	33.8%	29.6%
(1 施設当たり患者数)	227.6	159.2	165.9	148.7	157.1	140.0
平成 21 年度 DPC 参加病院	49.5%	31.1%	31.9%	28.2%	32.1%	28.3%
(1 施設当たり患者数)	181.8	118.3	122.6	110.4	116.7	104.5
平成 22 年度 DPC 参加病院	51.1%	31.3%	35.1%	29.8%	35.3%	30.0%
(1 施設当たり患者数)	154.0	98.5	111.5	96.9	105.9	91.3
平成 23 年度 DPC 参加病院	45.8%	26.5%	28.4%	26.0%	28.7%	25.8%
(1 施設当たり患者数)	144.8	87.3	94.8	89.5	90.8	83.6
平成 24 年度 DPC 参加病院	53.7%	25.3%	28.6%	28.1%	29.0%	28.4%
(1 施設当たり患者数)	95.6	67.2	76.0	77.3	72.9	73.3
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	48.0%	29.3%	28.7%	20.7%	28.7%	20.6%
(1 施設当たり患者数)	73.6	46.4	45.8	33.9	43.1	31.6
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	45.4%	27.6%	25.1%	16.4%	26.0%	16.5%
(1 施設当たり患者数)	60.7	37.4	34.4	22.4	33.3	21.2
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	60.2%	40.2%	37.7%	26.3%	37.5%	26.7%
(1 施設当たり患者数)	85.5	57.6	55.2	38.4	52.2	36.8
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		25.1%	25.1%	22.5%	25.0%	22.8%
(1 施設当たり患者数)		25.1	26.0	24.9	24.6	24.0
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				23.4%		23.3%
(1 施設当たり患者数)				54.5		50.8
平成 24 年度出来高算定病院				18.9%		19.3%
(1 施設当たり患者数)				24.2		18.2

2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満 (1 施設当たり患者数)	53.5% 49.8	31.4% 29.3	32.0% 30.1	26.9% 25.6	32.1% 28.6	27.2% 24.5
100 床以上 200 床未満 (1 施設当たり患者数)	55.8% 109.8	34.5% 70.1	34.9% 71.0	30.4% 63.0	35.0% 67.4	30.4% 59.4
200 床以上 300 床未満 (1 施設当たり患者数)	52.5% 185.0	34.2% 124.0	34.9% 128.2	30.4% 113.1	35.0% 121.4	30.4% 106.7
300 床以上 400 床未満 (1 施設当たり患者数)	49.2% 254.3	30.8% 165.2	32.4% 176.2	29.7% 166.2	32.4% 167.4	29.6% 156.3
400 床以上 500 床未満 (1 施設当たり患者数)	46.2% 320.3	31.4% 226.1	32.5% 235.8	29.0% 216.1	32.7% 225.1	29.0% 203.9
500 床以上 (1 施設当たり患者数)	36.8% 385.5	24.1% 260.7	24.7% 270.5	21.6% 241.7	24.8% 257.0	21.7% 228.4

【表 3-3】他院より紹介有りの率・患者数

1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	44.5% 503.6	51.6% 612.0	57.8% 692.9	64.8% 801.2	57.6% 648.9	64.3% 741.8
平成 16 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	43.5% 252.4	44.8% 268.6	48.1% 290.3	51.5% 315.2	47.8% 272.5	51.2% 295.9
平成 18 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	39.1% 257.6	41.3% 280.6	44.3% 306.0	47.8% 337.0	44.3% 289.5	47.5% 316.0
平成 20 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	40.1% 189.2	42.5% 206.6	44.3% 217.8	46.9% 235.5	44.2% 205.8	46.8% 221.2
平成 21 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	41.0% 150.8	42.0% 159.4	44.4% 170.4	46.6% 182.4	44.2% 160.5	46.3% 171.1
平成 22 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	41.1% 124.0	42.2% 133.1	44.5% 141.6	46.9% 152.6	44.3% 133.1	46.9% 142.8
平成 23 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	39.5% 124.9	45.3% 148.9	48.3% 161.1	49.6% 170.9	48.0% 151.9	49.2% 159.5
平成 24 年度 DPC 参加病院 (1 施設当たり患者数)	25.4% 45.3	36.2% 96.0	42.2% 112.3	47.4% 130.7	42.0% 105.4	46.7% 120.8
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	34.3%	35.1%	36.9%	39.1%	36.8%	38.7%

(1 施設当たり患者数)	52.6	55.6	58.8	64.1	55.2	59.4
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	37.7%	38.1%	39.3%	40.6%	38.8%	40.2%
(1 施設当たり患者数)	50.4	51.7	53.7	55.5	49.7	51.7
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	25.4%	27.4%	30.5%	31.3%	29.9%	31.7%
(1 施設当たり患者数)	36.0	39.1	44.7	45.7	41.6	43.7
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		26.1%	28.8%	34.4%	29.9%	34.3%
(1 施設当たり患者数)		26.1	29.9	38.0	29.4	36.2
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				43.0%		42.8%
(1 施設当たり患者数)				100.4		93.3
平成 24 年度出来高算定病院				40.3%		40.6%
(1 施設当たり患者数)				51.6		38.2

## 2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	27.9%	27.3%	29.0%	29.8%	28.9%	29.8%
(1 施設当たり患者数)	26.0	25.4	27.3	28.3	25.8	26.8
100 床以上 200 床未満	31.8%	32.4%	34.2%	35.5%	34.2%	35.5%
(1 施設当たり患者数)	62.5	66.0	69.6	73.7	65.7	69.3
200 床以上 300 床未満	36.2%	37.0%	38.8%	41.0%	38.7%	40.9%
(1 施設当たり患者数)	127.7	134.4	142.4	152.4	134.4	143.3
300 床以上 400 床未満	42.4%	44.6%	47.0%	48.8%	46.7%	48.5%
(1 施設当たり患者数)	219.1	239.0	255.8	273.3	241.0	256.3
400 床以上 500 床未満	41.2%	43.2%	46.4%	49.8%	46.1%	49.5%
(1 施設当たり患者数)	285.4	311.4	337.1	371.8	317.1	348.1
500 床以上	44.7%	48.7%	52.9%	57.9%	52.7%	57.4%
(1 施設当たり患者数)	468.1	527.3	578.8	647.6	545.0	603.6

### [結果]

救急車による搬送については、平成 23 年度から 24 年度にかけて、平成 22 年度新規準備病院では減少しているものの、他の施設類型および全ての病床規模においては搬送率および 1 施設当たりの患者や数は増加傾向が認められる。

救急医療入院については、平成 24 年度より「救急医療入院」が「救急医療入院以外の予定外入院」、「救急医療入院」へと分離されたため、救急医療入院としては減少が認められるが、予定外入院を加えることで傾向は年次的な変化は認められない。

他院からの紹介については、全ての施設類型および全ての病床規模において毎年増加傾向が認められる。

【表 4 - 1】退院時転帰の状況「治癒・軽快」

## 1) 施設類型別

施設類型		平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	治癒	3.3%	2.4%	2.2%	1.8%	2.2%	1.8%
	軽快	74.5%	75.0%	75.2%	75.3%	75.0%	75.0%
	治癒+軽快	77.8%	77.4%	77.4%	77.1%	77.1%	76.8%
平成 16 年度 DPC 参加病院	治癒	7.6%	7.9%	7.9%	7.5%	7.9%	7.7%
	軽快	74.2%	74.1%	74.7%	76.0%	74.6%	75.5%
	治癒+軽快	81.8%	82.0%	82.6%	83.5%	82.4%	83.1%
平成 18 年度 DPC 参加病院	治癒	6.7%	5.9%	5.9%	5.6%	5.9%	5.6%
	軽快	75.1%	75.6%	75.8%	76.4%	75.6%	76.1%
	治癒+軽快	81.8%	81.4%	81.7%	82.0%	81.5%	81.7%
平成 20 年度 DPC 参加病院	治癒	5.9%	5.4%	4.7%	4.8%	4.9%	4.8%
	軽快	75.1%	75.8%	76.8%	76.9%	76.4%	76.7%
	治癒+軽快	80.9%	81.2%	81.5%	81.7%	81.3%	81.4%
平成 21 年度 DPC 参加病院	治癒	5.0%	4.2%	4.0%	3.8%	4.1%	3.8%
	軽快	75.4%	76.0%	76.6%	77.1%	76.3%	76.7%
	治癒+軽快	80.4%	80.2%	80.6%	80.8%	80.4%	80.5%
平成 22 年度 DPC 参加病院	治癒	4.4%	3.2%	2.7%	2.7%	2.6%	2.6%
	軽快	73.8%	75.5%	75.9%	76.4%	75.8%	76.0%
	治癒+軽快	78.2%	78.7%	78.5%	79.1%	78.4%	78.6%
平成 23 年度 DPC 参加病院	治癒	5.9%	5.3%	4.3%	4.5%	4.4%	4.4%
	軽快	72.0%	73.6%	74.6%	74.4%	74.3%	74.1%
	治癒+軽快	77.9%	78.9%	78.9%	78.9%	78.7%	78.5%
平成 24 年度 DPC 参加病院	治癒	5.2%	3.8%	3.5%	2.3%	3.4%	2.3%
	軽快	75.0%	76.2%	76.5%	78.2%	76.6%	78.0%
	治癒+軽快	80.1%	80.0%	80.0%	80.5%	79.9%	80.3%
平成 18, 19 年度 新規 DPC 準備病院	治癒	3.7%	2.4%	2.3%	1.9%	2.3%	1.9%
	軽快	72.9%	74.0%	73.2%	73.2%	73.0%	72.7%
	治癒+軽快	76.6%	76.4%	75.4%	75.1%	75.3%	74.6%
平成 20 年度 新規 DPC 準備病院	治癒	6.9%	6.9%	4.5%	2.9%	4.5%	3.0%
	軽快	69.2%	68.4%	70.5%	73.9%	70.4%	73.0%
	治癒+軽快	76.0%	75.3%	75.0%	76.8%	75.0%	76.0%
平成 21 年度 新規 DPC 準備病院	治癒	5.5%	4.2%	2.3%	1.9%	2.4%	2.1%
	軽快	74.9%	75.0%	77.1%	79.0%	76.9%	78.1%
	治癒+軽快	80.4%	79.2%	79.4%	80.9%	79.2%	80.2%
平成 22 年度新規	治癒		3.5%	2.4%	2.9%	2.7%	2.6%

DPC 準備病院	軽快		76.9%	78.7%	77.7%	78.5%	77.7%
	治癒+軽快		80.4%	81.0%	80.6%	81.2%	80.3%
平成 24 年度 新規 DPC 準備病院	治癒				3.7%		3.8%
	軽快				75.7%		75.2%
	治癒+軽快				79.4%		79.0%
平成 24 年度 出来高算定病院	治癒				2.4%		2.2%
	軽快				72.7%		72.5%
	治癒+軽快				75.1%		74.7%

## 2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模		平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	治癒	5.2%	4.2%	4.1%	3.8%	4.1%	3.7%
	軽快	73.2%	73.7%	75.1%	76.2%	74.6%	75.8%
	治癒+軽快	78.4%	77.9%	79.2%	79.9%	78.6%	79.6%
100 床以上 200 床未満	治癒	4.1%	3.7%	3.1%	2.7%	3.2%	2.7%
	軽快	77.3%	77.9%	78.9%	79.6%	78.6%	79.3%
	治癒+軽快	81.4%	81.5%	82.0%	82.3%	81.8%	82.0%
200 床以上 300 床未満	治癒	3.9%	3.2%	3.0%	2.9%	3.1%	2.9%
	軽快	76.3%	77.0%	77.7%	78.3%	77.4%	77.9%
	治癒+軽快	80.3%	80.2%	80.7%	81.2%	80.5%	80.8%
300 床以上 400 床未満	治癒	5.7%	4.9%	4.6%	4.5%	4.7%	4.6%
	軽快	75.9%	76.7%	77.2%	77.4%	76.9%	77.1%
	治癒+軽快	81.6%	81.5%	81.8%	81.9%	81.6%	81.6%
400 床以上 500 床未満	治癒	5.2%	5.1%	5.1%	5.1%	5.2%	5.1%
	軽快	75.3%	75.1%	75.5%	75.5%	75.3%	75.1%
	治癒+軽快	80.5%	80.3%	80.6%	80.6%	80.4%	80.2%
500 床以上	治癒	6.3%	5.4%	4.9%	4.6%	5.0%	4.7%
	軽快	73.3%	74.2%	74.7%	75.2%	74.4%	74.8%
	治癒+軽快	79.6%	79.6%	79.6%	79.8%	79.4%	79.5%

### [結果]

退院時転帰の状況については、「治癒・軽快」に着目した場合、全ての施設類型および全ての病床規模において若干増減は認められるものの経年的な変化の傾向は認められない。

【表 5 - 1】退院先の状況「自院の外来」

#### 1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

	(6 か月)	(6 か月)	(6 か月)	(6 か月)	(12 か月)	(12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	83.9%	84.4%	84.1%	84.1%	84.1%	84.1%
平成 16 年度 DPC 参加病院	67.9%	67.4%	66.6%	67.3%	66.5%	67.1%
平成 18 年度 DPC 参加病院	72.7%	71.9%	71.7%	72.1%	71.5%	72.0%
平成 20 年度 DPC 参加病院	74.8%	74.3%	73.7%	73.7%	73.5%	73.6%
平成 21 年度 DPC 参加病院	75.4%	75.0%	74.5%	74.2%	74.3%	74.1%
平成 22 年度 DPC 参加病院	73.4%	73.4%	73.3%	73.4%	73.1%	73.5%
平成 23 年度 DPC 参加病院	77.2%	76.1%	76.4%	75.7%	76.3%	75.6%
平成 24 年度 DPC 参加病院	67.8%	75.1%	74.6%	73.9%	74.5%	73.8%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	66.9%	67.4%	68.0%	67.1%	67.6%	67.0%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	63.6%	63.5%	64.6%	66.0%	64.5%	65.5%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	69.4%	68.7%	69.9%	66.2%	69.4%	66.3%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		64.3%	63.8%	61.9%	63.0%	61.5%
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				74.8%		74.7%
平成 24 年度出来高算定病院				73.5%		72.7%

## 2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	67.7%	66.8%	66.4%	65.6%	66.1%	65.5%
100 床以上 200 床未満	68.9%	68.4%	68.0%	68.1%	67.9%	68.0%
200 床以上 300 床未満	70.0%	70.0%	69.9%	70.1%	69.7%	69.9%
300 床以上 400 床未満	72.7%	72.4%	71.7%	71.6%	71.5%	71.5%
400 床以上 500 床未満	77.2%	76.6%	76.3%	76.1%	76.0%	76.0%
500 床以上	79.8%	79.6%	79.2%	79.3%	79.0%	79.2%

## 【表 5 - 2】退院先の状況「転院」

### 1) 施設類型別

施設類型	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
平成 15 年度 DPC 参加病院	4.4%	4.6%	4.8%	5.0%	4.8%	4.9%
平成 16 年度 DPC 参加病院	5.8%	5.8%	5.8%	6.1%	5.8%	6.0%
平成 18 年度 DPC 参加病院	5.9%	6.1%	6.1%	6.3%	6.1%	6.3%
平成 20 年度 DPC 参加病院	5.1%	5.2%	5.3%	5.4%	5.2%	5.3%
平成 21 年度 DPC 参加病院	5.0%	5.0%	5.2%	5.3%	5.1%	5.2%
平成 22 年度 DPC 参加病院	5.9%	5.6%	5.7%	5.8%	5.6%	5.7%
平成 23 年度 DPC 参加病院	4.2%	4.5%	4.4%	4.7%	4.4%	4.6%

平成 24 年度 DPC 参加病院	7.0%	5.9%	6.0%	6.3%	6.0%	6.2%
平成 18, 19 年度新規 DPC 準備病院	5.9%	5.6%	6.0%	5.8%	5.9%	5.8%
平成 20 年度新規 DPC 準備病院	6.5%	6.8%	6.8%	6.7%	6.8%	6.7%
平成 21 年度新規 DPC 準備病院	7.3%	8.0%	6.7%	7.4%	6.8%	7.6%
平成 22 年度新規 DPC 準備病院		6.0%	6.8%	6.1%	6.7%	6.1%
平成 24 年度新規 DPC 準備病院				4.8%		4.8%
平成 24 年度出来高算定病院				4.5%		4.6%

## 2) 病床規模別 (DPC 対象病院のみ)

病床規模	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
100 床未満	7.1%	6.9%	7.0%	7.4%	7.1%	7.3%
100 床以上 200 床未満	5.6%	5.7%	5.7%	5.7%	5.6%	5.7%
200 床以上 300 床未満	5.5%	5.4%	5.4%	5.4%	5.3%	5.4%
300 床以上 400 床未満	5.6%	5.6%	5.7%	5.9%	5.7%	5.8%
400 床以上 500 床未満	4.9%	5.0%	5.2%	5.5%	5.2%	5.4%
500 床以上	4.8%	5.0%	5.2%	5.4%	5.1%	5.3%

### [結果]

退院先の状況については、「自院の外来」、「転院」とともに、若干の増減を認めるものの経年的な変化の傾向を認めない。

## ②DPC 対象病院と対象外の病院との比較

### ○ 目的

- 平成24年度より DPC 対象病院および DPC 準備病院に加え、出来高病院（出来高算定する病院のうち DPC 準備病院ではない病院）から DPC データの収集を開始した。
- DPC 対象病院および DPC 対象外の病院（DPC 準備病院・出来高病院）で、在院日数や病床利用率等に違いがあるかについて評価することを目的として、①モニタリング項目（定例報告）と同じ項目について集計を行った。

### ○ 結果

#### ・「平均在院日数」について

【表 6－1】在院日数の平均の年次推移

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	14.70	14.57	14.29	13.98	13.67	13.43
DPC 準備病院	15.38	15.32	15.01	14.82	14.42	14.24
出来高算定病院				14.58		15.29

	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

#### 【結果】

DPC 対象病院は、DPC 準備病院および出来高算定病院と比較し、平均在院日数は 1 日ほど短く、有意差を認めた。

#### ・「病床利用率」について

【表 7－1】病床利用率

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	79.1%	81.1%	81.0%	81.0%	81.5%	81.3%
DPC 準備病院	77.2%	79.7%	79.9%	78.2%	80.5%	78.5%
出来高算定病院				78.2%		78.6%

	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	n.s.	n.s.



[結果]

DPC 対象病院と対象外の病院で差はほぼなく、有意差は認めない。

・「入院経路」について

【表 8-1】救急車による搬送の率・患者数

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	12.8%	13.2%	13.6%	14.1%	13.7%	14.2%
(1 施設当たり患者数)	61.3	64.5	67.3	71.5	64.3	67.9
DPC 準備病院	13.7%	14.1%	13.9%	14.0%	14.1%	14.2%
(1 施設当たり患者数)	19.9	20.2	20.1	26.3	19.2	24.9
出来高算定病院				11.6%		11.8%
(1 施設当たり患者数)				14.9		11.1

率	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

1 施設当たり	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

【表 8-2】予定・救急医療入院の率・患者数（救急医療入院の率・患者数）

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	45.0%	29.1%	30.0%	26.5%	30.1%	26.5%
(1 施設当たり患者数)	215.2	142.5	148.3	134.0	140.9	126.4
DPC 準備病院	49.1%	29.8%	28.6%	22.2%	28.8%	22.2%
(1 施設当たり患者数)	71.6	42.6	41.4	41.5	39.2	38.8
出来高算定病院				18.9%		19.3%
(1 施設当たり患者数)				24.2		18.2

率	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

1 施設当たり	平成 24 年 (6 か月)	平成 24 年 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院+出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

(注) 救急医療入院については、平成 24 年度より「救急医療入院」が「救急医療入院以外の予定外入院」、「救急医療入院」へと分離された。

【表 8-3】 他院より紹介有りの率・患者数

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 (1 施設当たり患者数)	40.9% 195.5	43.4% 212.3	46.4% 229.7	49.7% 251.6	46.2% 216.4	49.4% 235.4
DPC 準備病院 (1 施設当たり患者数)	34.0% 49.6	34.0% 48.5	35.9% 51.8	40.9% 76.5	35.7% 48.5	40.6% 71.2
出来高算定病院 (1 施設当たり患者数)				40.3% 51.6		40.6% 38.2

率	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院+出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

1 施設当たり	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院+出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

[結果]

救急車の搬送の率は DPC 対象病院と DPC 準備病院では差は認められないが、出来高算定病院と比べた場合差が認められる。DPC 対象病院と対象外病院で比較した場合、有意差が認められる。

救急医療入院の割合としては、DPC 対象病院が他の群と比較しても高く 1 施設当たりの患者数は多く、有意差が認められる。出来高算定病院については割合が低く DPC 準備病院と比較しても 1 施設当たりの患者数が半数ほど少なく、有意差が認められる。

紹介の率で見た場合、DPC 対象病院の割合が対象外の病院と比較して 10%ほど高く、有意差を認める。

・「退院時転帰（治癒・軽快）」について

【表 9－1】退院時転帰の状況「治癒・軽快」

		平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	治癒	5.5%	4.7%	4.4%	4.2%	4.5%	4.3%
	軽快	74.9%	75.5%	76.1%	76.5%	75.9%	76.2%
	治癒＋軽快	80.4%	80.3%	80.5%	80.8%	80.3%	80.4%
DPC 準備病院	治癒	4.8%	3.8%	2.8%	3.1%	2.9%	3.2%
	軽快	72.2%	73.1%	73.6%	75.2%	73.5%	74.7%
	治癒＋軽快	77.0%	76.9%	76.4%	78.3%	76.3%	77.8%
出来高算定病院	治癒				2.4%		2.2%
	軽快				72.7%		72.5%
	治癒＋軽快				75.1%		74.7%

治癒＋軽快	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

[結果]

「治癒・軽快」の割合は、DPC 対象病院では対象外の病院と比較して高く、有意差を認める。

・「退院先の状況（自院外来・転院）」について

【表 10－1】退院先の状況「自院の外来」

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	75.4%	75.0%	74.7%	74.7%	74.5%	74.5%
DPC 準備病院	66.4%	66.4%	67.0%	71.2%	66.7%	71.0%
出来高算定病院				73.5%		72.7%

自院外来	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	p<0.05	p<0.05

【表 10-2】退院先の状況「転院」

	平成 21 年度 (6 か月)	平成 22 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (6 か月)	平成 23 年度 (12 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院	5.2%	5.3%	5.4%	5.6%	5.3%	5.5%
DPC 準備病院	6.3%	6.2%	6.3%	5.4%	6.3%	5.4%
出来高算定病院				4.5%		4.6%

転院	平成 24 年度 (6 か月)	平成 24 年度 (12 か月)
DPC 対象病院 VS DPC 準備病院＋出来高算定病院	n.s.	n.s.

【結果】

退院先の状況「自院の外来」については DPC 対象病院が対象外の病院よりも高く有意差を認める。また、「転院」の割合については、対象病院と対象外病院との間で有意差を認めない。

③再入院再転棟に係る調査

平成 24 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査実施期間中に収集されたデータのうち 7 月から 10 月の退院患者データから下記条件で調査対象症例データを抽出し、平成 23 年度までに実施したデータと共に、平成 22 年度から平成 24 年度の 3 年間の変化等を取りまとめた。

なお、平成 23 年度まで特別調査として実施されていた「再入院・再転棟調査」は、平成 24 年度より退院患者調査の様式 1 に統合された。

再入院に係る調査

再入院について下記の 17 項目で施設類型（病床規模別）・年度別に集計を行った。

① 年度別集計
② 前回退院時医療資源病名との関係別、再入院理由別集計
③ (②の内訳) 計画的再入院における理由別集計
⑥ (③の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の集計 (MDC 別)
⑦ (③の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の集計 (上位 15 傷病名抽出)
④ (②の内訳) 予期された再入院における理由別集計
⑤ (②の内訳) 予期せぬ再入院における理由別集計
⑨ (⑤の一部) 新たな他疾患発症のため予期せぬ再入院となった患者の集計 (MDC 別)
⑩ (⑤の一部) 新たな他疾患発症のため予期せぬ再入院となった患者の集計 (上位 15 傷病名抽出)

⑧ (②の一部) 前回退院時医療資源病名との関係別、再入院理由別集計 (計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者を除く。)
⑪ 再入院までの期間別集計
⑫ (⑪の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の再入院までの期間別集計
⑬ (⑪の一部) 計画的な手術等を目的とした患者の再入院までの期間別集計
⑭ (⑬の詳細) 計画的な手術等を目的とした患者の再入院までの期間別集計 (MDC 別)
⑮ (⑬の詳細) 計画的な手術等を目的とした患者の再入院までの期間別集計 (上位 15 傷病名抽出)
⑯ (⑪の一部) 計画的な化学療法・放射線療法を目的とした患者の再入院までの期間別集計 (再入院回数別)
[その他]
⑰ 1 患者あたりの再入院回数集計

再入院率については、全体で見た場合、平成 23 年度から平成 24 年度にかけて 11.5%から 11.6%と微増が認められる。(図表 1 参考)

施設類型別では、増加傾向を認めるのは平成 15 年度 DPC 参加病院、平成 20 年度 DPC 参加病院であるがほぼ横ばいに推移している。平成 16 年度 DPC 参加病院、平成 18 年度 DPC 参加病院、平成 23 年度 DPC 参加病院、平成 24 年度 DPC 参加病院、DPC 準備病院は平成 22 年度から 23 年度にかけて増加したが、平成 23 年度から 24 年度にかけて減少が認められた。

また、病床規模別では、400 床以上の病床規模別グループでは平成 22 年度から 24 年度にかけて再入院率の増加が認められたがほぼ横ばいの推移となっている。100 床未満の病床規模では平成 22 年度から 24 年度にかけて減少している。(図表 2-①参考)

傾向としては、概ね「計画的な再入院」および「予期された再入院」は平成 23 年度から 24 年度にかけて減少しているのに対し、「予期せぬ再入院」が増加していた。(図表 2-③④⑤参考)

計画的再入院については、「計画的な化学療法のため」が大部分を占めており、当該理由が平成 23 年度から 24 年度にかけて減少傾向にある。内訳としては MDC06 (消化器系疾患・肝臓・胆道・膵臓疾患) および MDC12 (女性生殖器系疾患および産褥期疾患・異常妊娠分娩) の領域で減少傾向にある。(図表 2-③⑥参考)

予期された再入院については、「予期された原疾患の悪化、再発のため」が減少傾向を認められる。(図表 2-④参考)

予期せぬ再入院については、「予期せぬ原疾患の悪化、再発のため」および「新たな他疾患の発症のため」の増加傾向が認められる。「新たな他疾患の発症のため」の内訳としては、MDC04 (呼吸器系疾患) 領域の増加が目立ち、疾患としては 040080 (肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎) は平成 23 年度から 24 年度にかけて減少はしているものの、平成 24 年度より肺炎より新たに分離された 040081 (誤嚥性肺炎) の増加によるものが予期せぬ再入院の増加に影響を及ぼしていると考えられる。(図表 2-⑨⑩参考)

## 再転棟に係る調査

再転棟について下記の 7 項目で施設類型 (病床規模別)・年度別に集計を行った。

① 年度別集計
② 前回退院時医療資源病名との関係別、再転棟理由別集計
③ (②の内訳) 計画的再転棟における理由別集計
④ (②の内訳) 予期された再転棟における理由別集計
⑤ (②の内訳) 予期せぬ再転棟における理由別集計
⑥ MDC (主要診断群) 別集計
⑦ 再転棟までの期間別集計

再転棟率については、全体で見た場合、平成 23 年度から 24 年度にかけて 0.08%から 0.09%と増加傾向は認められる。(図表 3 参考)

施設類型別で見ると、DPC 準備病院の再転棟率が高く、平成 23 年度 DPC 参加病院では経年的に減少が認められた。病床規模別で見ると、100 床未満での再転棟率が高い。(図表 4-①参考)

計画的再転棟については、「計画的な手術・処置・検査のため」が大部分を占めており、再転棟率が上がった類型(病床規模)では当該理由が平成 23 年度から 24 年度にかけての増加が認められる。(図表 4-③参考)

予期された再転棟については減少傾向が認められ、大部分を占めている「予期された原疾患の悪化、再発のため」は概ね減少傾向にある。(図表 4-④参考)

予期せぬ再転棟については、DPC 準備病院においては平成 23 年度から 24 年度にかけて減少しており、他類型(病床規模)において、大部分は「新たな他疾患発症のため」が占めている。(図表 4-⑤参考)

<結果概要>

①術前画像診断の外来実施状況

- 5大がんの予定入院手術症例について、造影CT、MRIの外来実施状況の集計を行ったが、I群（大学病院本院）において外来実施率が低い傾向を認めたものの、その他の施設特性・地域特性において明らかな傾向の違いは認めなかった。

②化学療法の外来実施状況

- 化学療法のレジメン別の外来実施状況の集計を行ったが、施設特性・地域特性において明らかな傾向の違いは認めなかった。

<考察>

- ◇ 術前画像診断と化学療法の外来実施状況について施設や地域の特性によって何らかの傾向があるのではないかという仮説のもと集計を行ったが、明らかな傾向を見いだすことは出来なかった。
- ◇ 外来EFファイルを用いることで、術前画像診断の外来実施状況の把握や、化学療法の外来実施状況のより詳細な把握が可能であり、今後も引き続き外来EFファイルを収集することにより、経年変化を調べることも可能となると考えられる。

○ 背景

平成24年10月診療分より、一部の医療機関において外来EFファイルの提出が開始された。外来EFファイルを用いた調査を結果のとりまとめそれに伴い、外来での術前に行われる画像診断の外来実施状況および外来化学療法の実施状況に着目し集計を行った。

① 術前画像診断の外来での実施状況

予定手術の術前に行われる画像診断の外来実施率について、医療機関特性や地域特性に違いがあるかについて評価を行った。

○ 方法

予定入院あり、かつ5大がんである「肺癌、胃癌、大腸癌、乳癌、子宮癌」それぞれの手術ありの診断群分類の入院症例のうち、入院する4週間前までに行われた造影CTおよびMRIの外来での実施数および入院から初回手術までの期間で行われた造影CTおよびMRIの入院での実施数より、造影CT、MRIの外来実施比率を集計した。

なお、外来EFファイルの提出開始が10月からという点を踏まえ、集計対象症例としてはDPC対象病院かつ外来EFファイル提出医療機関に限定し平成24年11月1日以降入院症例に限定して評価を行った。

なお、二次医療圏人口20万人階層別については、WGより二次医療圏人口のマスタの提供

を受け、集計をおこなった。

注	5大がんにかかる上6桁コード
040040	肺癌
060020	胃癌
060035、060040	大腸癌
(060035: 大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍、060040:直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍)	
090010	乳癌
12002x	子宮癌

○ 集計結果

1) 医療機関群別

医療機関群	外来実施率					
	造影CT					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
I群	51.7%	77.2%	68.2%	72.0%	91.3%	84.3%
II群	76.8%	90.3%	86.2%	90.3%	95.5%	95.5%
III群	82.9%	88.5%	84.0%	86.9%	95.9%	94.1%

医療機関群	外来実施率					
	MRI					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
I群	72.9%	58.7%	54.7%	66.2%	95.7%	88.9%
II群	89.5%	76.8%	69.0%	77.9%	98.7%	95.6%
III群	91.0%	72.7%	71.8%	76.5%	98.3%	95.4%

2) 病床規模別

病床規模	外来実施率					
	造影CT					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
100床未満	86.2%	88.0%	79.8%	86.4%	91.7%	-
100床以上 200床未満	79.5%	90.1%	81.3%	85.4%	95.3%	96.2%
200床以上 300床未満	76.9%	87.8%	81.9%	85.3%	95.0%	96.7%
300床以上	81.2%	90.4%	85.9%	89.6%	95.3%	95.4%



400 床未満						
400 床以上 500 床未満	80.6%	87.9%	84.6%	85.7%	95.5%	94.0%
500 床以上	69.1%	85.3%	80.8%	84.0%	95.3%	90.6%

病床規模	外来実施率					
	MRI					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
100 床未満	77.8%	100.0%	81.8%	100.0%	100.0%	100.0%
100 床以上 200 床未満	92.9%	74.0%	66.0%	69.3%	97.8%	100.0%
200 床以上 300 床未満	88.6%	68.7%	71.4%	74.8%	97.4%	94.3%
300 床以上 400 床未満	90.6%	69.8%	73.8%	78.2%	98.5%	94.8%
400 床以上 500 床未満	90.4%	74.9%	72.7%	75.1%	98.1%	95.5%
500 床以上	85.5%	70.1%	65.0%	74.4%	97.8%	93.6%

3) 二次医療圏人口 20 万人階層別

二次医療圏 人口区分	外来実施率					
	造影 CT					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
20 万人以下	73.0%	88.8%	85.2%	86.6%	96.0%	89.4%
40 万人以下	79.4%	90.4%	84.4%	88.3%	94.4%	93.1%
60 万人以下	70.4%	88.1%	82.6%	84.1%	96.1%	90.8%
80 万人以下	72.6%	87.2%	82.8%	85.2%	97.2%	92.4%
100 万人以下	62.6%	88.3%	85.2%	89.5%	95.0%	95.9%
100 万人超	74.5%	84.4%	80.6%	84.4%	94.1%	92.1%

二次医療圏 人口区分	外来実施率					
	MRI					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
20 万人以下	86.9%	77.1%	76.9%	72.9%	98.6%	94.2%

40 万人以下	90.3%	76.7%	76.6%	78.2%	98.3%	94.4%
60 万人以下	87.2%	70.4%	65.2%	71.6%	98.1%	93.0%
80 万人以下	86.9%	69.7%	67.5%	72.0%	97.5%	95.7%
100 万人以下	88.5%	74.1%	62.2%	76.9%	97.6%	93.5%
100 万人超	86.9%	67.7%	67.5%	77.0%	97.9%	94.0%

#### 4) 二次医療圏都道府県庁所在地あり・なし別

二次医療圏 都道府県庁 所在地	外来実施率					
	造影 CT					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
あり	67.0%	85.8%	81.4%	83.8%	95.0%	92.4%
なし	78.2%	88.2%	83.4%	86.7%	95.5%	92.0%

二次医療圏 都道府県庁 所在地	外来実施率					
	MRI					
	040040	060020	060035	060040	090010	12002x
あり	84.2%	68.5%	65.9%	72.3%	97.6%	92.8%
なし	90.0%	72.6%	70.3%	76.5%	98.1%	95.2%

#### ○ 結果

5 大がん別に比較した場合、造影 CT の外来実施率については乳癌・子宮癌で比較的高く、肺癌で低い傾向が認められ、MRI については乳癌・子宮癌で比較的高く、胃癌・大腸癌で低い傾向が認められた。

医療機関群別（Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群）で見た場合、Ⅰ群の医療機関は造影 CT や MRI の外来実施率がⅡ群・Ⅲ群と比較し低い傾向が認められた。

病床規模別で見た場合、Ⅰ群が含まれる 500 床以上の医療機関において造影 CT の外来実施率が低い。

地域特性について調べるため、二次医療圏人口区分 20 万人階層別で集計したが、大都市部や小都市で傾向の違いは認められなかった。また、都道府県庁所在地での二次医療圏で見た場合であっても傾向は認められなかった。

## ② 化学療法の外来での実施状況

#### ○ 背景

- 平成 22 年特別調査において、化学療法の外来実施の全般的な状況について調査を行ったが、施設特性や地域特性による明らかな傾向の違いは認めなかった。
- 外来 E F ファイルを使用することにより、レジメン別で見たより詳細な化学療法の外来実施

状況について評価を行う事が可能なのではないかという観点から、一部のレジメンを抜粋し医療機関特性や地域特性があるかを評価することを目的として集計を行った。

○ 方法

- 注射剤のみを使用するレジメンの一部例として「カルボプラチン+パクリタキセル」、「シスプラチン+ゲムシタビン」を入院もしくは外来での件数を集計する。
- なお、条件としては同日に該当レジメンを実施した場合を対象として、一入院期間中で複数回同レジメンを行った場合は複数回実施として処理を行った。(入院において別日に該当薬剤を投与した場合は、集計対象から除外している。)
- 外来EFファイルの提出開始が10月からという点を踏まえ、集計対象症例としてはDPC対象病院かつ外来EFファイル提出医療機関に限定し、入院においては平成24年10月1日以降入院症例に限定して評価を行った。
- 二次医療圏人口10万人階層別については、WGより二次医療圏別人口マスタの提供を受け、集計をおこなった。

○ 結果

1) 医療機関群別

医療機関群	カルボプラチン+パクリタキセル	シスプラチン+ゲムシタビン
I 群	39.3%	72.5%
II 群	53.3%	68.9%
III 群	40.8%	66.2%

2) 病床規模別

病床規模	カルボプラチン+パクリタキセル	シスプラチン+ゲムシタビン
100床未満	27.0%	67.9%
100床以上 200床未満	45.5%	53.2%
200床以上 300床未満	35.0%	63.4%
300床以上 400床未満	45.2%	67.7%
400床以上 500床未満	43.0%	64.8%
500床以上	43.1%	70.7%

3) 二次医療圏人口20万人階層別

二次医療圏 人口区分	カルボプラチン ＋ パクリタキセル	シスプラチン ＋ ゲムシタビン
20 万人以下	50.3%	56.5%
40 万人以下	46.0%	69.2%
60 万人以下	38.7%	61.9%
80 万人以下	45.7%	71.4%
100 万人以下	51.4%	69.8%
100 万人超え	38.8%	71.1%

4) 二次医療圏都道府県庁所在地あり・なし別

二次医療圏 都道府県庁 所在地	カルボプラチン＋パクリタキセル	シスプラチン＋ゲムシタビン
あり	41.7%	68.1%
なし	43.7%	68.2%

○ 結果

医療機関群別、病床規模別、二次医療圏人口 10 万人階層別、都道府県庁所在地での二次医療圏別でも、各類型での傾向は認められなかった。

同日実施レジメン別で見た場合、カルボプラチン＋パクリタキセル療法の方がシスプラチン＋ゲムシタビン療法より外来実施率が低い。

### (3) 総合病院精神科の診療実態に関する評価

#### <結果の概要>

- ① 精神病床に入院する患者の DPC データ提出状況
  - 精神科病院全体に対しての DPC データ提出医療機関のシェアは病床数ベースで 4% (一般病院の精神病床では 15%)、退院患者ベースでは 10% (一般病院の精神病床では 31%) となっている。
- ② 急性期病院の精神病床の有無別診療実績の評価
  - 精神合併症ありの症例について、精神病床併設の有無で見た場合、1 病院当たりの患者数、救急車で搬送された患者数いずれも併設ありの医療機関の方が多く、有意差が認められた。
- ③ MDC17 から見た一般病床・精神病床別の診療実態比較
  - 精神科精神療法、GAF スコア、隔離の有無、入院時 ADL スコア別に集計を行ったが、いずれも在院日数との間に一定の関連性が認められたが、一般病床と精神病床でその関連性の傾向の違いが認められた。

#### <考察>

- ◇ いわゆる総合病院において、精神病床を併設する病院と併設しない病院で当該病院の一般病床において精神疾患を有する患者受け入れ状況に違いがあるかを評価することを目的として集計を行ったところ、併設ありの医療機関の方が精神疾患を有する患者の受け入れが活発であることが分かった。
- ◇ 一般病床に入院する患者と精神病床に入院する患者で在院日数に影響を与える要因について評価する目的で集計を行ったところ、それぞれ在院日数に影響を与える要因の傾向は異なっており、同じ ICD-10 コードに該当する場合であっても、一般病床に入院する患者と精神病床に入院する患者で患者像に違いがあるものと考えられた。
- ◇ 但し、精神病床に入院する患者全体のうち、DPC データが提出されている患者数の割合は 1 割程度であり、DPC データによって精神科入院医療全体の診療実態について一定の結論を出すことについては限界があるものと考えられる。

#### ○ 背景

現在、DPC 導入の影響評価に係る調査として DPC フォーマットデータを提出している医療機関については精神科棟に入院する患者の DPC データも提出することとされており、精神科での診療実態の評価と今後の調査のあり方の検討に資するため、集計を行った。

#### ① 精神病床に入院する患者に関する DPC データの提出状況

精神病床に入院する患者の DPC フォーマットデータの提出状況について、病床数のシェア状況を

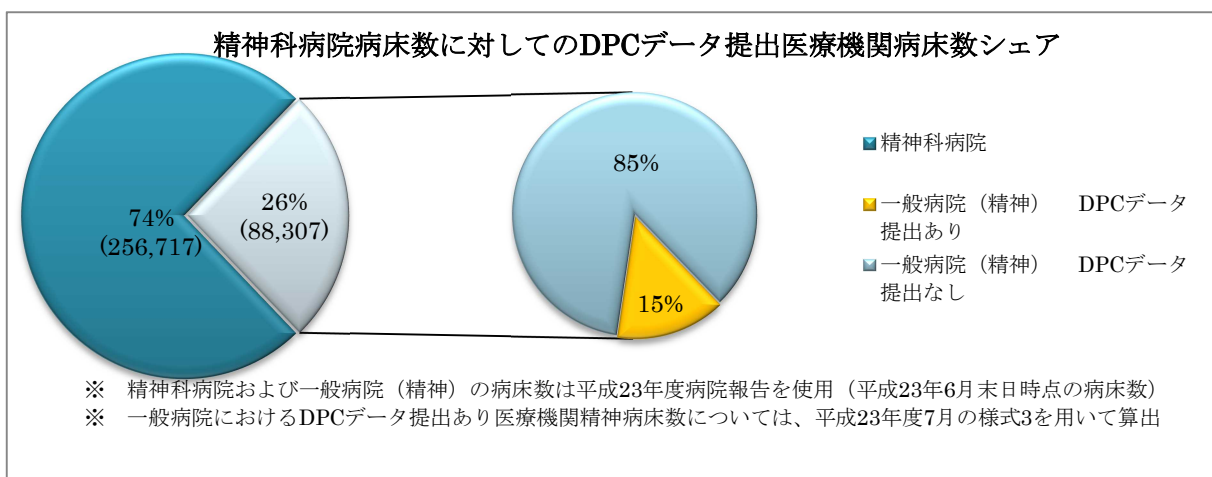
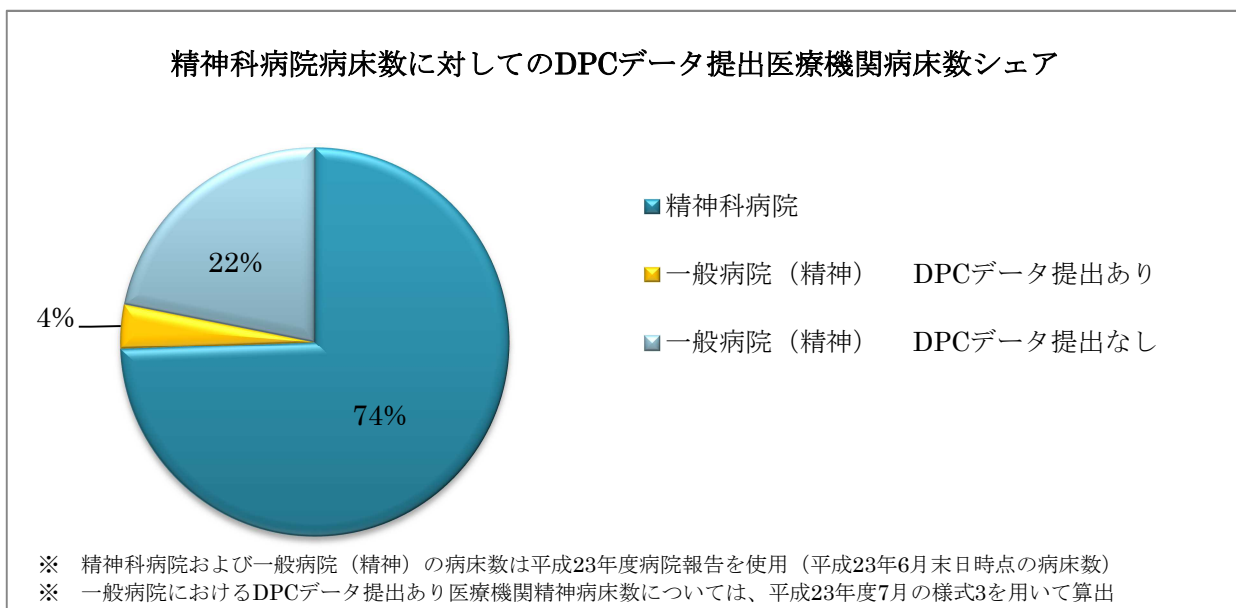
および退院患者数のシェア状況の把握を行う。

○ 方法

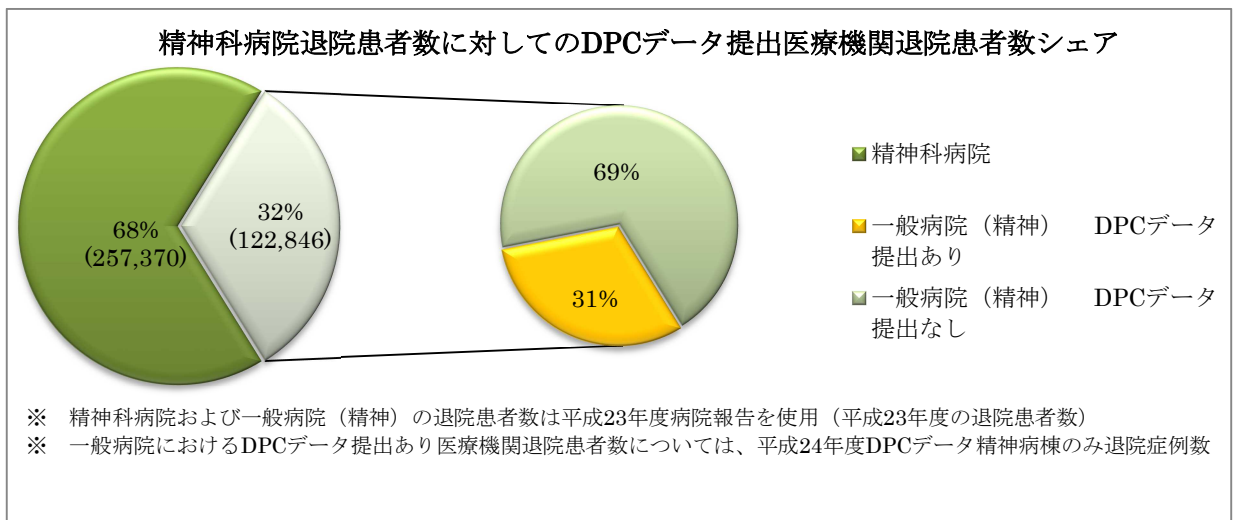
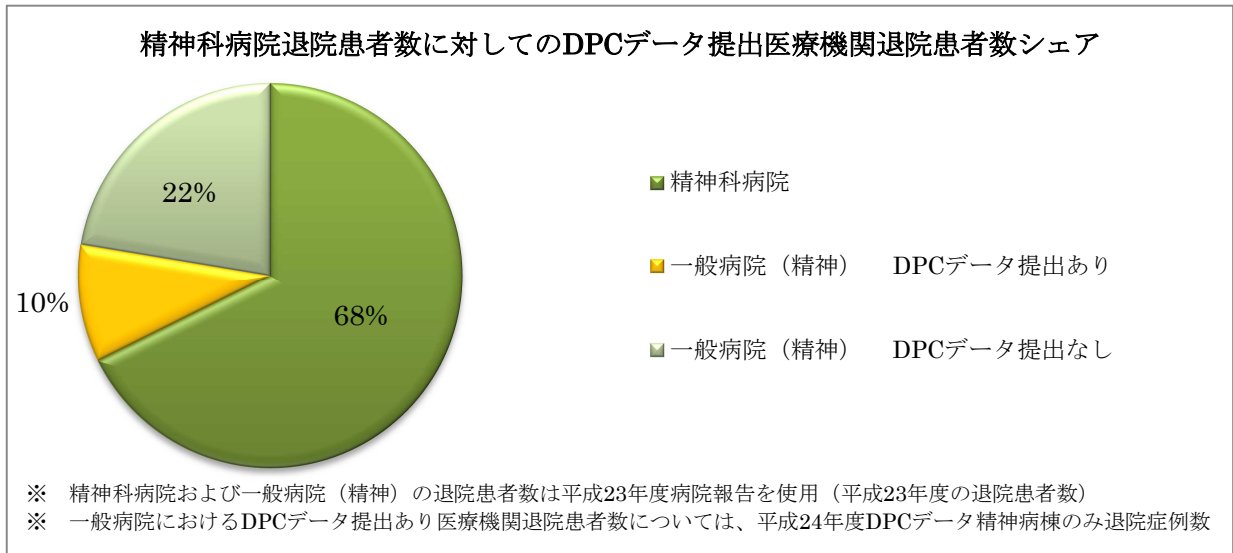
精神科病院における DPC フォーマットデータ提出医療機関のシェアを把握するために統計情報部報告の病院報告を用いて、病床数のシェアおよび退院患者数のシェアを集計した。なお、平成 24 年度病院報告については公表前であるために、参考値として平成 23 年度病院報告の値を母数として用い、かつ DPC フォーマットデータ提出医療機関においては平成 24 年度時点の値を用いているためにあくまでも参考値である。

○ 結果

1) 病床数シェアの状況



2) 退院患者数シェア



○ 考察

精神科病院全体に対するDPCデータ提出医療機関のシェアは病床数ベースで4%（一般病院の精神病床では15%）、退院患者ベースでは10%（一般病院の精神病床では31%）となっている。

② 急性期病院の精神病床の有無別診療実績の評価

○ 目的

精神病床の併設の有無によって、精神疾患の受け入れに違いがあるかについて一般病棟のみ入院症例において、精神疾患合併症を持つ患者の取扱いについて把握を行う。

○ 方法

一般病棟のみで、かつMDC17（精神疾患）の病名をもつ精神疾患合併症入院症例に限定して、精神病床併設ありなし医療機関別に1施設当たりの患者数を集計した。更に、当該症例での救急車で搬送された1施設当たりの患者数を集計した。

精神病床併設ありなしの判定においては、A103 精神病棟入院基本料、A104 特定機能病院入院基本

料（精神の場合）、A311 精神科救急入院料、A311-2 精神科急性期治療病棟入院料、A311-3 精神科救急・合併症入院料、A311-4 児童・思春期精神科入院医療管理料および A312 精神療養病棟入院料で判定を行っている。

○ 結果

（一般病床の入院患者）	施設数	1 病院当たりの精神合併症あり症例数	1 病院当たりの精神合併症あり、救急車搬送あり症例数
精神病床併設なし	1,560	202.3	55.6
精神病床併設あり	214	505.7 ( $p<0.05$ )	111.0 ( $p<0.05$ )

（参考）

精神病床併設あり医療機関のうち、一般病棟入院症例数と精神病棟入院症例数の内訳

	症例数	比率
一般病床のみ入院症例数	2,164,840	97.5%
精神病床のみ入院症例数	36,835	1.7%
一般病床と精神病床入院症例数	5,006	0.2%

○ 考察

一般病床のみ症例に限定して精神合併症あり症例を精神病床併設の有無で見た場合、1 病院当たりの患者数は精神病床併設あり医療機関の方が 2 倍以上高く、有意差が認められた。

また、精神合併症症例でかつ救急車で搬送された症例に着目した場合であっても、併設あり医療機関の方が扱う症例数は多く、有意差が認められた。

### ③ 精神疾患領域（MDC17）における在院日数に影響を及ぼす要因

○ 目的

精神疾患領域（MDC17）について、一般病床のみに入院した症例と精神病床のみに入院した症例で平均在院日数等に違いがあるか否かについて、また 070020 から 070060 においてどのような要因が在院日数に違いを与えるかについて評価を行うことを目的として集計を行った。

○ 方法

- 精神疾患領域（MDC17）について、一般病床のみに入院した症例および精神病床のみに入院した症例で DPC 上 6 桁別に在院日数の違いを、「精神科専門療法の有無」「G A F（30 以上、30 未満）」「隔離の有無」「入院時 A D L 区分（10 以上、10 未満）」別に平均在院日数の違いを集計した。その際、長期入院症例の影響を除外するために在院日数を 90 以下のものを対象とし、各指標で不明とされているものについては集計対象より除外した。
- また、170030（統合失調症）および 170040（気分障害）において、各指標を説明変数とし



て在院日数に関連する影響を評価するために重回帰分析を行った。

- なお、精神科専門療法については医科点数表特掲診療料の精神科専門療法（外来のみに適用される行為は除く）を用い、GAF、隔離の有無およびADLについては様式1の項目を使用した。

注 精神科にかかる上6桁コード  
 170020（精神作用物質使用による精神および行動の障害）  
 170030（統合失調症）  
 170040（気分障害）  
 170050（神経症性障害，ストレス関連障害および身体表現性障害）  
 170060（その他の精神及び行動の障害）

○ 集計結果

1) 精神科専門療法の有無別に見た平均在院日数(DPC6桁別)

DPC6 桁	精神科 専門療 法	一般病棟のみ							精神病棟のみ						
		度数		平均 値	中央 値	標準 偏差	最 小 値	最 大 値	度数		平均 値	中央 値	標準 偏差	最 小 値	最 大 値
170020	なし	4,224	96.8%	2.6	2.0	2.9	2	80	23	4.8%	6.7	3.0	7.6	2	26
	あり	138	3.2%	7.9	4.0	13.1	2	85	453	95.2%	26.5	22.0	22.3	2	89
	合計	4,362		2.7	2.0	3.8	2	85	476		25.6	20.0	22.2	2	89
170030	なし	299	55.9%	8.4	4.0	11.2	2	73	197	2.3%	13.2	8.0	13.9	1	80
	あり	236	44.1%	20.0	14.0	18.6	1	87	8,387	97.7%	32.8	28.0	24.3	1	90
	合計	535		13.5	7.0	16.0	1	87	8,584		32.3	28.0	24.3	1	90
170040	なし	1,140	42.4%	14.9	9.0	15.0	2	90	285	2.8%	14.4	8.0	15.8	2	89
	あり	1,549	57.6%	25.8	23.0	17.5	2	89	9,765	97.2%	34.8	31.0	23.5	2	90
	合計	2,689		21.2	17.0	17.3	2	90	10,050		34.2	30.0	23.6	2	90
170050	なし	4,772	84.1%	6.7	3.0	8.9	1	89	196	6.4%	16.0	9.0	17.4	2	82
	あり	900	15.9%	17.9	13.0	16.3	2	89	2,875	93.6%	29.0	24.0	22.1	2	90
	合計	5,672		8.5	4.0	11.2	1	89	3,071		28.1	23.0	22.0	2	90
170060	なし	1,888	84.5%	10.7	6.0	13.4	2	89	388	13.2%	5.5	2.0	11.1	2	85
	あり	347	15.5%	20.0	15.0	17.6	2	88	2,556	86.8%	29.1	23.0	23.1	1	90
	合計	2,235		12.2	7.0	14.5	2	89	2,944		26.0	19.0	23.3	1	90
合計	なし	12,323	79.5%	6.7	2.0	10.0	1	90	1,089	4.3%	11.2	4.0	14.8	1	89
	あり	3,170	20.5%	21.7	18.0	17.7	1	89	24,036	95.7%	32.6	28.0	23.7	1	90
	合計	15,493		9.8	3.0	13.4	1	90	25,125		31.7	27.0	23.8	1	90

2) GAF スコアのレベル別に見た平均在院日数 (DPC6 桁別)

DPC6 桁	GAF スコア	一般病棟のみ							精神病棟のみ						
		度数		平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値	度数		平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
170020	30 以上	2,457	94.8%	2.7	2.0	3.9	2	85	292	63.6%	25.4	20.0	22.0	2	89
	30 未満	134	5.2%	4.3	2.0	7.9	2	74	167	36.4%	25.7	19.0	22.7	2	88
	合計	2,591		2.8	2.0	4.2	2	85	459		25.5	20.0	22.2	2	89
170030	30 以上	340	87.0%	15.6	9.0	16.8	2	87	5,787	69.5%	31.6	27.0	23.7	2	90
	30 未満	51	13.0%	12.0	5.0	15.4	2	68	2,544	30.5%	34.2	30.0	25.6	1	90
	合計	391		15.1	8.0	16.6	2	87	8,331		32.4	28.0	24.3	1	90
170040	30 以上	2,194	95.0%	22.4	19.0	17.3	2	90	7,681	77.9%	33.1	29.0	23.4	2	90
	30 未満	115	5.0%	18.4	9.0	20.8	2	88	2,176	22.1%	38.3	36.0	23.6	2	90
	合計	2,309		22.2	18.0	17.5	2	90	9,857		34.2	31.0	23.6	2	90
170050	30 以上	3,908	96.9%	9.5	5.0	12.1	2	89	2,513	83.4%	28.4	23.0	22.0	2	90
	30 未満	126	3.1%	8.6	4.0	13.4	1	74	501	16.6%	26.8	21.0	22.1	2	90
	合計	4,034		9.5	5.0	12.2	1	89	3,014		28.1	23.0	22.0	2	90
170060	30 以上	1,392	93.9%	12.9	7.0	14.7	2	89	1,994	69.3%	24.1	17.0	22.5	1	90
	30 未満	90	6.1%	14.9	7.5	18.4	2	89	885	30.7%	30.4	24.0	24.5	2	90
	合計	1,482		13.0	7.0	14.9	2	89	2,879		26.0	19.0	23.3	1	90
合計	30 以上	10,291	95.2%	11.3	5.0	14.4	2	90	18,267	74.4%	30.9	26.0	23.4	1	90
	30 未満	516	4.8%	11.1	4.0	16.3	1	89	6,273	25.6%	34.3	30.0	24.7	1	90
	合計	10,807		11.3	5.0	14.5	1	90	24,540		31.7	27.0	23.8	1	90

3) 隔離の有無別に見た平均在院日数 (DPC6 桁別)

DPC6 桁	隔離	一般病棟のみ							精神病棟のみ						
		度数		平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値	度数		平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
170020	なし	4,252	97.5%	2.7	2.0	3.8	2	85	317	66.6%	26.0	21.0	22.2	2	89
	あり	108	2.5%	2.8	2.0	2.6	2	20	159	33.4%	24.6	18.0	22.2	2	89
	合計	4,360		2.7	2.0	3.8	2	85	476		25.6	20.0	22.2	2	89
170030	なし	525	98.1%	13.5	7.0	16.0	1	87	6,721	78.3%	31.4	27.0	23.3	1	90
	あり	10	1.9%	11.1	3.5	13.1	2	32	1,863	21.7%	35.8	33.0	27.3	2	90
	合計	535		13.5	7.0	16.0	1	87	8,584		32.3	28.0	24.3	1	90

170040	なし	2,648	98.5%	21.3	17.0	17.3	2	90	9,230	91.8%	33.7	30.0	23.4	2	90
	あり	39	1.5%	17.0	9.0	20.4	2	88	820	8.2%	40.5	40.0	24.7	2	90
	合計	2,687		21.2	17.0	17.3	2	90	10,050		34.2	30.0	23.6	2	90
170050	なし	5,586	98.6%	8.5	4.0	11.2	1	89	2,865	93.3%	28.2	23.0	21.9	2	90
	あり	82	1.4%	6.0	3.0	9.0	2	75	206	6.7%	27.1	21.0	24.4	2	90
	合計	5,668		8.5	4.0	11.2	1	89	3,071		28.1	23.0	22.0	2	90
170060	なし	2,196	98.3%	12.2	7.0	14.5	2	89	2,427	82.4%	25.0	18.0	22.5	1	90
	あり	38	1.7%	10.3	6.0	11.9	2	56	517	17.6%	30.8	24.0	26.3	2	90
	合計	2,234		12.2	7.0	14.5	2	89	2,944		26.0	19.0	23.3	1	90
合計	なし	15,207	98.2%	9.8	3.0	13.4	1	90	21,560	85.8%	31.1	27.0	23.2	1	90
	あり	277	1.8%	7.1	3.0	11.5	2	88	3,565	14.2%	35.2	32.0	26.5	2	90
	合計	15,484		9.8	3.0	13.4	1	90	25,125		31.7	27.0	23.8	1	90

#### 4) 入院時のADLレベル別に見た平均在院日数(DPC6 桁別)

DPC6 桁	入院 時ADL 区分	一般病棟のみ							精神病棟のみ						
		度数	平均 値	中 央 値	標 準 偏 差	最 小 値	最 大 値	度数	平均 値	中 央 値	標 準 偏 差	最 小 値	最 大 値		
170020	10以上	1,301	37.7%	2.8	2.0	3.8	2	74	305	72.4%	26.4	20.0	22.0	2	89
	10未満	2,146	62.3%	2.7	2.0	3.6	2	80	116	27.6%	23.0	18.5	22.0	2	88
	合計	3,447		2.7	2.0	3.6	2	80	421		25.5	20.0	22.0	2	89
170030	10以上	277	59.7%	15.7	9.0	16.6	1	87	7,131	90.0%	32.6	28.0	24.1	1	90
	10未満	187	40.3%	10.2	5.0	12.5	2	73	795	10.0%	28.4	22.0	25.6	2	90
	合計	464		13.5	7.0	15.3	1	87	7,926		32.2	28.0	24.3	1	90
170040	10以上	2,204	88.4%	21.9	18.0	17.0	2	90	8,958	94.6%	33.8	30.0	23.4	2	90
	10未満	289	11.6%	17.7	10.0	18.5	2	88	510	5.4%	36.2	33.0	25.4	2	90
	合計	2,493		21.5	18.0	17.3	2	90	9,468		34.0	30.0	23.5	2	90
170050	10以上	3,667	80.0%	9.3	5.0	11.8	1	89	2,646	94.6%	28.5	23.0	21.7	2	90
	10未満	918	20.0%	6.6	3.0	9.7	2	87	150	5.4%	20.8	12.5	21.4	2	85
	合計	4,585		8.8	4.0	11.5	1	89	2,796		28.1	23.0	21.7	2	90
170060	10以上	1,028	65.3%	13.0	8.0	14.1	2	88	2,313	87.7%	24.6	17.0	22.8	2	90
	10未満	546	34.7%	13.9	8.0	15.7	2	89	325	12.3%	29.4	25.0	23.9	2	90
	合計	1,574		13.3	8.0	14.7	2	89	2,638		25.2	18.0	23.0	2	90
合計	10以上	8,477	67.5%	12.3	6.0	14.6	1	90	21,353	91.8%	31.7	27.0	23.5	1	90
	10未満	4,086	32.5%	6.5	2.0	10.8	2	89	1,896	8.2%	29.8	25.0	25.1	2	90
	合計	12,563		10.4	4.0	13.8	1	90	23,249		31.5	27.0	23.7	1	90

5) 170030 (統合失調症)における在院日数に関連する要因の重回帰分析結果

	一般のみ (R2 = 0.180)					精神のみ (R2 = 0.028)				
	標準化されていない		標準化係	t 値	有意	標準化されていない		標準化係	t 値	有意
	係数	標準誤差	ベータ			係数	標準誤差	ベータ		
B	標準誤差	ベータ			B	標準誤差	ベータ			
(定数)	9.524	1.839		5.179	0.000	11.708	1.941		6.032	0.000
sex	0.694	1.722	0.020	0.403	0.687	1.382	0.562	0.028	2.458	0.014
隔離	1.184	5.035	0.012	0.235	0.814	4.458	0.708	0.075	6.297	0.000
Gaf level	-0.941	2.449	-0.020	-0.384	0.701	2.405	0.635	0.045	3.788	0.000
小児ダミー	-6.986	8.569	-0.041	-0.815	0.415	6.052	4.474	0.015	1.353	0.176
高齢者ダミー	3.625	1.859	0.100	1.950	0.052	3.971	0.835	0.054	4.753	0.000
ADL 前区分	-4.843	1.816	-0.142	-2.667	0.008	-6.478	0.942	-0.080	-6.875	0.000
精神科専門療法	11.536	1.670	0.359	6.909	0.000	18.578	1.929	0.109	9.629	0.000

Sex : 0=男性、1=女性、隔離 : 0=なし、1=あり、

Gaf level : 0=30 以上、1=30 未満、小児ダミー : 0=15 歳未満、1=15 歳以上、

高齢者ダミー : 0=65 歳未満、1=65 歳以上、ADL 前区分 : 0=10 以上、1=10 未満

精神科専門療法 : 0=なし、1=あり

6) 170040 (気分障害)における在院日数に関連する要因の重回帰分析結果

	一般のみ (R2 = 0.099)					精神のみ (R2 = 0.041)				
	標準化されていない		標準化係	t 値	有意	標準化されていない		標準化係	t 値	有意
	係数	標準誤差	ベータ			係数	標準誤差	ベータ		
B	標準誤差	ベータ			B	標準誤差	ベータ			
(定数)	13.501	0.899		15.016	0.000	13.113	1.504	0.000	8.716	0.000
sex	0.827	0.790	0.022	1.047	0.295	-0.802	0.512	-0.016	-1.566	0.117
隔離	2.271	3.277	0.014	0.693	0.488	6.288	0.912	0.072	6.898	0.000
gaf_level	-3.565	1.682	-0.044	-2.119	0.034	4.314	0.604	0.075	7.144	0.000
小児ダミー	-5.010	5.867	-0.018	-0.854	0.393	6.242	4.920	0.013	1.269	0.205
高齢者ダミー	3.893	0.734	0.111	5.302	0.000	5.249	0.518	0.104	10.128	0.000
ADL 前区分	-1.555	1.205	-0.027	-1.290	0.197	-1.317	1.087	-0.013	-1.211	0.226
精神科専門療法	10.864	0.762	0.301	14.252	0.000	18.881	1.484	0.130	12.722	0.000

Sex : 0=男性、1=女性、隔離 : 0=なし、1=あり、

Gaf\_level : 0=30 以上、1=30 未満、小児ダミー : 0=15 歳未満、1=15 歳以上、

高齢者ダミー : 0=65 歳未満、1=65 歳以上、ADL 前区分 : 0=10 以上、1=10 未満

精神科専門療法 : 0=なし、1=あり

○ 結果

一般病床に入院する精神疾患患者と精神病床に入院する精神疾患患者を比較した場合、170020(精神作用物質使用による精神および行動の障害)については一般病床に入院する患者が多く、170030

(統合失調症)、170040 (気分障害)、170060 (その他の精神及び行動の障害)については精神病床上に入院する患者が多い。

精神科専門療法の有無別で平均在院日数を見た場合、精神科専門療法ありの方が、一般病床のみ症例および精神病床のみ症例共に平均在院日数が長期化する傾向が認められた。

G A Fスコアのレベル別で平均在院日数を見た場合、一般病床のみ症例および精神病床のみ症例共にG A Fの区分では明確な平均在院日数の差および一定の傾向はみられなかった。

隔離の有無別で平均在院日数を見た場合、一般病床のみ症例の場合、170020(精神作用物質使用による精神および行動の障害)以外では隔離なし症例の方が在院日数が長期化する傾向が認められた。しかし、精神病床のみ症例とした場合隔離あり症例の方が在院日数が長期化する傾向が認められた(170030 (統合失調症)、170040 (気分障害)、170060 (その他の精神及び行動の障害))。

入院時A D Lスコアのレベル別で平均在院日数を見た場合、A D L 1 0以上の方が一般病床のみ症例および精神病床のみ症例共に平均在院日数が長期化する傾向が認められた(精神病床のみの170060を除く)。

また、一般病床のみ症例と比べて精神病床のみ症例の方が、平均在院日数が長期化する傾向が認められた。

170030 (統合失調症)における在院日数に影響を及ぼす要因を解析したところ、一般病床のみ症例では、精神科専門療法が在院日数を延伸する有意な変数であるのに対し、精神病床のみ症例では、隔離の有無、G A Fレベル、年齢(65歳以上)、入院時A D L区分および精神科専門療法が在院日数を延伸する有意な変数となっている。

同じく170040 (気分障害)における在院日数の影響を及ぼす要因を解析したところ、一般病床のみ症例では、年齢(65歳以上)および精神科専門療法が在院日数を延伸する有意な変数であるのに対し、精神病床のみ症例では、隔離の有無、G A Fレベル、年齢(65歳以上)および精神科専門療法が在院日数を延伸する有意な変数となっていると考えられた。

(参考：平成 25 年 5 月 22 日 DPC 評価分科会 D-2 より抜粋)

調査対象の一覧表 (○は必須)

	入院データ (※1)	外来データ (※2)
DPC 参加病院 I 群・II 群	○	○
III 群	○	任意
DPC 準備病院	○	任意
出来高病院 (※3)	任意	任意

※1 様式 1、様式 3、様式 4、D ファイル、EF 統合ファイルを含む。

※2 外来 EF 統合ファイルを含む。

※3 平成 24 年 7 月 1 日よりデータの提出を開始。

●外来データのデータ提出状況 (平成 25 年 4 月 1 日時点)

	外来データを提出している施設数	(参考) 全国の施設数
DPC 参加病院 I 群・II 群 (必須)	170	170
III 群 (任意)	1,224	1,326
DPC 準備病院 (任意)	125	244
出来高病院 (任意)	11	34

●出来高病院のデータの提出状況

- 平成 24 年度改定で、出来高病院の DPC データの提出を「A245 データ提出加算」により新たに評価。
- 平成 24 年 7 月よりデータの提出を開始。
- データ提出をしている施設数は、34 施設である (平成 25 年 4 月現在)。